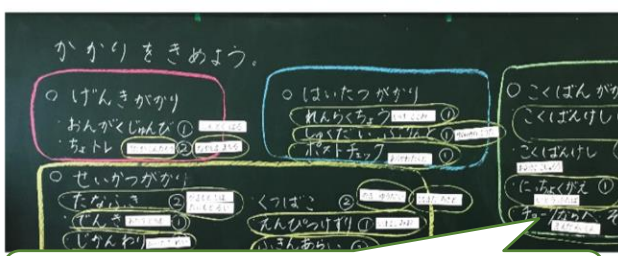




なつめ 9月号

〈編集・発行〉
鹿儿岛市立喜入小学校
〈発行日〉
令和3年9月21日

時差登校を終了して



全員そろって、やっと決まりました。
2学期の係活動開始！（1年生）

二つの教室に分かれて、複式学級の
ような理科の授業（3年生）



教室では理科専科
による直接指導

一方、別室ではモニターを見ながらの
間接指導



「S君、強くて優しくなったねえ。」と、私の感動を伝えると、しばらくしてから、「僕が、Nちゃんたちよりもっと早く学校に来ていれば、よかったかも。」と、彼なりに考えた解決策を話したのです。1学期には、泣きじゃくる彼を抱きかかえて学校へ連れていくこともあったS君。朝の問題に自分なりの納得解を創り出す成長ぶりに、私はこみ上げる思いを禁じえませんでした。（歳のせいでしょうか。）

不安と恐怖の中、対立する正義と正義は、社会を分断してしまう危機を招くことを実感させられている今、「悪者をつくりださない納得解」を導き出すS君の姿を、世の大人たちに見せたいと思いました。

学校には、こんな感動がいくつもあります。教師は、子どもを教えながら、子どもに学んでいます。子どもによって、教師の資質・能力は、磨かれていきます。それが、子どものよりよい学びに還元されます。学校は、そういうところなんです。時差登校を早期に終了させたことへの御心配はおありかと思いますが、御理解いただいて、子どもの学びを応援してください。

子どもに学ぶ ～目指す教師像～

校長 内村 英人

時差登校で始まった2学期。そして、9月10日には時差登校を終了させ、感染対策を工夫しての全員登校への変更。短期間での保護者の皆様への連絡、そして、朝令暮改のごとき対策変更は、保護者の皆様の御理解と御協力なくしてできませんでした。心より感謝いたします。

今後も、警戒感を緩めることなく、子どもの学びを止めない学校運営に努めてまいります。

さて、時差登校期間中の出来事を一つ御紹介します。

その日、1年生のS君は、午後からの登校だったのですが、朝からのお預かりの一人だったので、朝登校しました。ところが、事情を知らない友達に、登校時間が違うと言われ、泣く泣く引き返したのです。そこを交番のおまわりさんになぐさめられながら、再度、学校へ。

私が、通用門前でS君と会った時には、頬に涙の跡がありましたが、泣き止んでいました。一緒に歩き始めると、S君は事情を話し始めました。そして、「Nちゃんたちは、僕が朝来ることを知らなかったんだと思う。」と言うのです。友達を責めるのではなく、友達の行為の理由を理解しようとする寛大さに、まず感動しました。

抵抗力を高めましょう
（十分な睡眠 適度な運動 バランスのとれた食事）